

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0148

令和5年度行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	科学者間ネットワークの構築			担当部局庁	日本学術会議	作成責任者	
事業開始年度	昭和24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画課	上村 秀紀 課長	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	日本学術会議法第2条			関係する 計画、通知等	-		
政策	26. 日本学術会議			主要経費	その他の事項経費		
施策	29. 日本学術会議に関する施策の推進						
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hvouka/h29hvouka/h29jiigo/h29jiigo-24.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	日本学術会議法第2条に基づき、我が国の科学者の内外に対する代表機関(全国約87万人の科学者の代表として選出された会員210名(定員)と連携会員約2,000名で構成)として、科学者間交流を推進し、科学者コミュニティ内の連携・協力体制を強化することで、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させること。						
現状・課題 (5行程度以内)	各地区(北海道、東北、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄)において、地域及び最近の話題などをテーマとした地区会議主催公開学術講演会、地域の科学者の意見を聴く場である科学者懇談会を開催し、地域の学術振興、科学者ネットワークを図っているところ、可能な限り開催経費を抑えつつ、参加者数を増加させる必要がある。そのため、開催に当たっては、地域社会と関係の深いテーマや、議論が高まっているなど時宜にかなったテーマ、演者を選定し、魅力的な講演会等を開催すべく、引き続き各地区を支援していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	科学者間のネットワーク構築に寄与するため、各地域で、日本学術会議で集積した研究成果や学術情報の提供を行うほか、地域の科学者からの意見・要望等を聴取するため、科学者懇談会、地区会議公開学術講演会を開催する。						
事業概要URL	https://www.sci.go.jp/ja/area/index.html						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	7.7	7.5	7.4	7.4	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
	予備費等(E)	-	-	-	-	-	
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	7.7	7.5	7.4	7.4	-		
執行額(G)	3	3.2	4.1				
執行率(%) =(G)/(F)	39%	43%	55%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	39%	43%	55%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	日本学術会議			事項要求		
	(目)	委員等旅費	2.5				
	(目)	庁費	2.3	-			
	(目)	会員手当	1.0	-			
	(目)	委員手当	0.7	-			
	(目)	職員旅費	0.7	-			
	その他	0.2	-				

		計(A)	7.4	-					
活動内容① (アクティビティ)	全国7ブロックの地区会議で各地区の市民等を対象とした公開学術講演会を開催する。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	科学者や一般市民向けの地区会議公開学術講演会を各地区年度当たり1回以上開催	地区会議公開学術講演会の開催件数	活動実績 当初見込み	回	6	7	7	-	-
				回	9	8	8	8	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	地区会議は、日本学術会議の諸活動を地区内の科学者等に周知徹底し、及び日本学術会議に対する意見、要望を汲み上げて日本学術会議と科学者との意思疎通を図るとともに、地域社会の学術の振興に寄与することを目的として開催されること、地区会議公開学術講演会への科学者や一般市民の参加が多いほどその目的達成に寄与することから、地区会議公開講演会の参加者数(1回当たり平均値)を長期アウトカムに設定した。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
	地域の科学者と連携し、講演会を毎年同程度の参加者数で開催することにより、研究成果や学術情報の地域社会との共有化と科学者間ネットワークの構築を図る。	地区会議公開講演会の参加者数(1回当たり平均値)	成果実績	名	164.5	197.7	162.8	-	
			目標値	名	100	100	200	200	
			達成度	%	164.5	197.7	81.4	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	地区会議公開講演会の参加者数								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
アクティビティである「全国7ブロックの地区会議で各地区の市民等を対象とした公開学術講演会を開催する」ことが、「地区会議公開講演会の参加者数」に直接結びつくため。									

事業に関連するKPIが定められている関連決定等	名称	
	URL	
	該当箇所	

事業所管部局による点検・改善	
点検結果	<p>各地区(北海道、東北、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄)において、地域及び最近の話題などをテーマとした地区会議主催公開講演会、地域の科学者の意見を聴く場である科学者懇談会を合計7回開催し、地域の学術振興、科学者ネットワークの構築に貢献した。なお、令和4年度当初の計画では合計8回の開催予定であったが、地方学術会議主催として1回分開催したため、7回の開催となった。また、オンライン開催が多かったため、旅費及び庁費(会場借料)に不用品が多く生じた。公開講演会の参加者数についても、令和3年度はオンライン開催(併用含む)によって、これまで現地出席困難であった方の参加もあり参加者数が増加したが、令和4年度は減少したことから、地域社会と関係の深いテーマや時宜に合ったテーマ、演者を選定し、引き続き参加者数の増加に努めたい。</p> <p>また、平成23年度の予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、本事業の在り方について点検を行った結果、各地区固有の問題について学術講演会で取り上げるなどの情報発信が、日本学術会議の機能強化の一環としても、地区会議の活動を強化する点でも重要であることを確認し、本事業を継続することとした。なお、同時に地区会議開催関連予算の見直しを行い、経費の負担減につながる会場選定などを行った。今後も当事業がより効率的かつ実効性のある形で地区会議を実施できるよう、適時適切に点検を行いつつ実施していく。</p>
改善の方向性	地区会議主催公開講演会の参加者に対し、各地域の要望等を把握するためアンケート調査を行い、各地域で何を求められているのかを把握するとともに、開催経費についても引き続き負担軽減に努める。

外部有識者の所見	

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	
---------------------------	--

現状通り	引き続き、予算の効果的・効率的な事業の実施に努めること。
------	------------------------------

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
-------------------------	--

現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。
------	-------------------------

過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	
	上記への対応状況	
	その他の指摘事項	
	上記への対応状況	

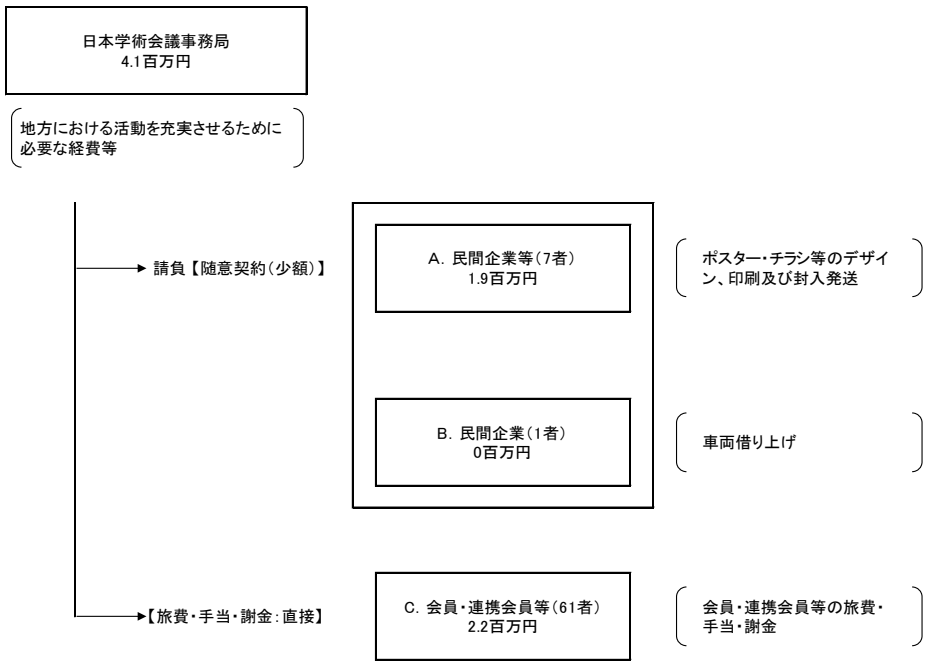
備考	
----	--

定量的な成果目標の最終目標年度欄について、最終年度ではないが便宜的に直近の令和5年度を記載
(参考)日本学術会議地区会議主催学術講演会の結果報告ホームページ

関連する過去のレビューシートの事業番号	
平成23年度	0167
平成24年度	0161
平成25年度	0115
平成26年度	0112
平成27年度	0121
平成28年度	0117
平成29年度	0121
平成30年度	0127
令和元年度	内閣府 - 0136
令和2年度	内閣府 0137

令和3年度	2021	府	20	0154															
令和4年度	2022	府	21	0158															

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社成光社	5470001002266	ニュースの発行・発送	0.7	随意契約(少額)	-	-	
2	名古屋大学消費生活協同組合	3180005003424	ポスター・チラシの印刷等	0.4	随意契約(少額)	-	-	
3	株式会社北斗プリント社	9130001007279	ポスター・チラシの印刷等	0.2	随意契約(少額)	-	-	
4	株式会社昭和堂	4310001008016	ポスター・チラシの印刷等	0.2	随意契約(少額)	-	-	
5	株式会社近代美術	8360001006457	ポスター・チラシの印刷等	0.2	随意契約(少額)	-	-	
6	柏楊印刷株式会社	2430001013328	ポスター・チラシの印刷等	0.1	随意契約(少額)	-	-	
7	株式会社ニシキプリント	1240001008323	チラシの印刷等	0.1	随意契約(少額)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖縄ジャンボタクシーグループ	-	車両借上	0	随意契約(少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	旅費・手当	0.2	その他	-	-	
2	個人B	-	旅費	0.2	その他	-	-	
3	個人C	-	旅費・謝金	0.1	その他	-	-	
4	個人D	-	旅費	0.1	その他	-	-	
5	個人E	-	〃	0.1	その他	-	-	
6	個人F	-	旅費・手当	0.1	その他	-	-	
7	個人G	-	〃	0.1	その他	-	-	
8	個人H	-	〃	0.1	その他	-	-	
9	個人I	-	旅費	0.1	その他	-	-	
10	個人J	-	〃	0.1	その他	-	-	